

**ソニー教育財団 全国の小・中学校と教員個人、
幼稚園・保育所・認定こども園から論文を募集し助成金を進呈
全教科対象の教育実践論文・教育実践計画・保育実践論文を募集**

ソニー教育財団（会長：盛田昌夫）は、「教育・保育の実践と今後の計画」をまとめた論文を募集します。次世代を担う子どもたちのために、より良い教育・保育の実践に取り組む学校・園と教員個人に助成金と教育教材等（ソニー製品）を贈呈します。



ソニー創業者 井深大

小・中学校を対象とした「**教育実践論文**」は、「科学が好きな子どもを育てる」ための教育実践と計画を募集します。今年度より新たに、理科・生活科に限定せず、全教科からの応募を対象といたします。より多くの教員の方々から、子どもたち自身が生き生きと主体的に創造性を育み、科学を探究する姿に焦点を当てた論文の応募をいただくことを期待しています。

また、小・中学校の教員個人への助成を行う「**教育実践計画**」も募集します。子どもたちが活躍する未来の社会において求められる能力や資質を想定し、その育成に関する計画をまとめていただくものです。情熱を持ち、未来志向の先進的な計画に取り組む意欲がある教員の方々からの応募をお待ちしています。

幼稚園・保育所・認定こども園が対象の「科学する心を育てる」保育をテーマとした「**保育実践論文**」は、事業開始から今年度で20周年目を迎えます。不確実な時代を生きる子どもたちが自ら未来を切り拓いていくための、豊かな感性と創造性の芽生えを育む「科学する心」の保育実践を募集します。

ソニー創業者の井深大は、日本の発展のためには子どもたちの理科教育が重要であると考え、1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈を始めました。その後、井深の関心は乳幼児へと広がり、乳幼児期から子どもの心を育てることの重要性を唱え続けました。ソニー教育財団は、これからも井深大が教育にかけた思いを大切に、子どもたちの豊かな感性と創造性を育む支援を継続して参ります。

「教育実践論文」「教育実践計画」「保育実践論文」募集概要

応募方法：<https://www.sony-ef.or.jp/program/>

募集期間：2022年8月1日（月）～8月31日（水）15時送信完了分まで※Web応募のみ

入選発表：2023年1月中旬以降に当財団のホームページで発表

◎ **【全教科】「教育実践論文」小学校・中学校 対象**（ソニー子ども科学教育プログラム）

論文テーマ：「科学が好きな子どもを育てる」

審査委員長：御手洗康 学校法人共立女子学園 学園長 理事長、元文部科学事務次官

助成内容：最優秀校300万円、優秀校50万円、奨励校10万円の教育助成金とソニー製品
全応募校にソニー製品を贈呈

◎ **【全教科】「教育実践計画」小学校・中学校 教員個人 対象**

(ソニー子ども科学教育プログラム)

論文テーマ： 「子どもたちに必要な課題解決能力や探究心を育てる」

審査委員長： 御手洗康 学校法人共立女子学園 学園長 理事長、元文部科学事務次官

助成内容： 入選 10 万円の教育助成金、全応募者にソニー製品を贈呈

◎ **「保育実践論文」幼稚園・保育所・認定こども園 対象** (ソニー幼児教育支援プログラム)

論文テーマ： 「科学する心を育てる」～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～

審査委員長： 小泉英明 (株)日立製作所 名誉フェロー

助成内容： 最優秀園 200 万円、優秀園 30 万円、優良園 10 万円、奨励園 5 万円の教育助成金と教育教材、全応募園にソニー製品を贈呈

■ **2021年度 ソニー子ども科学教育プログラム 最優秀2校** (応募総数 161 校)

横浜市立立野小学校／神奈川県

テーマ：自然に浸り、じっくり観察し、新たな価値を創造する子ども



刈谷市立朝日中学校／愛知県

テーマ： 朝中サイエンス エクスペリエンス III
～探究的な授業作りを目指して～



■ **2021年度 ソニー幼児教育支援プログラム 最優秀2園** (応募総数 155 園)

**社会福祉法人さがみ愛育会 幼保連携型認定こども園
愛の園ふちのべこども園／神奈川県**

テーマ：自然が与えてくれる感動をもっと身近に
～語り合う中でつながり、広がる世界～



京都市立明德幼稚園／京都府

テーマ：つながり 対話することで 深まる思考



■ 2021 年度 「教育実践計画」 入選者（対象：小学校・中学校教員）

教員名（敬称略）	学校名	テーマ
佐々木 雄一郎	福島市立大森小学校 （福島県）	問題解決を通して学びを深め、自然を愛する子どもを育む ～福島の自然と関連づけた理科教育の実践から～
沼尻 淳	学校法人新渡戸文化学園 新渡戸文化小学校 （東京都）	知的好奇心を高め、知をアップデートする力を育む 「ハイブリッド型・科学者の時間」の実践
古野 博	学校法人成城学園 成城学園初等学校 （東京都）	考えることが楽しくなる探究授業の開発を目指して
津田 真秀	国立大学法人京都教育 大学附属京都小中学校 （京都府）	小学校高学年における情報活用能力の獲得を目指した現実事象 を解明する教科横断的授業の実践
花田 峻介	北九州市立祝町小学校 （福岡県）	自分の力で物事を考え、自分の力で物事を生み出していく力を 育む理科教育 ～地域の題材を活かし、子どもの「はてな」を引き出すには～

上位入選の全学校名、教員名、園名、論文、講評、計画内容はウェブサイトに掲載しています。

ソニー教育財団「論文・計画募集[助成]」：<https://www.sony-ef.or.jp/program/>

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035